Ⅲ　結果の概要

利用上の注意

1　統計表の数字は，表章単位未満の位で四捨五入してあること，また，「総数」に「分類不能」，「不詳」の数を含むことから，「総数」と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しない。

2　統計表中の「0」，「0.0」，「0.00」は，集計した数値が表章単位に満たないものである。

3　統計表中の「-」は，該当の行動者が皆無の場合及び同値の人口や標本数が連続するため省略している箇所である。

4　統計表中の「…」は，当該属性の標本数が皆無の場合及び標本数が 10 未満で，結果精度の観点から表章していない箇所である。

5　生活時間に係る結果の平日及び週全体の総平均時間及び行動者平均時間は各曜日別の平均時間から算出しているため，下記の場合は「…」と表示している。

・月曜日～金曜日までの当該属性標本がすべてない場合の「平日」の総平均時間及び行動者平均時間

・平日，土曜日及び日曜日のうち，1 つでも総平均時間が「…」で表示される場合，その属性をもった週全体の総平均時間

・月曜日～日曜日までの当該属性標本がすべてない場合，週全体の行動者平均時間

第１　生活時間

１　１日の生活時間の配分

（１）　概観

①　１次活動時間は減少，２次活動時間及び３次活動時間は増加

本県に住んでいる 10 歳以上の人について，1 日の生活時間（週全体平均。以下「週全体」という。）をみると，1 次活動[1] 時間が 10 時間 41 分，2 次活動[2] 時間が 6 時間 57 分，3 次活動[3] 時間が 6 時間 21 分となっている。

平成 23 年と比べると，1 次活動時間は 7 分の減少，2 次活動時間は 4 分の増加，3 次活動時間は 2 分の増加となっている。（表 1－1）

②　睡眠，仕事が減少，家事が増加

生活時間の活動を男女別にみると，男性は 1 次活動時間が 10 時間 34 分，2 次活動時間が 6 時間 47 分，3 次活動時間が 6 時間 38 分，女性は 1 次活動時間が 10 時間 48 分，2 次活動時間が 7 時間 8 分,3 次活動時間が 6 時間 4 分となっており,1 次及び 2 次活動時間は女性が長く，3 次活動時間は男性が長くなっている。

生活時間の活動の内訳をみると,1 次活動の睡眠は男性が 9 分,女性が 10 分減少しており，総数でも 9 分減少している。その結果，1 次活動は男性が 9 分の減少，女性が 5 分の減少，総数では 7 分の減少である。

2 次活動の仕事は，男性が 9 分，女性が 3 分減少しており，総数では 6 分減少している。これに対して，2 次活動の家事は男性が 3 分，女性が 5 分増加しており，総数では 4 分の増加である。その結果，家事関連は男性が 3 分，女性が 9 分の増加で，総数としては 7 分の増加となっている。

3 次活動の内訳をみると，テレビ・ラジオ・新聞・雑誌において，女性が 12 分と大きく減少し，総数でも 4 分の減少となっている。一方，休養・くつろぎにおいては，男性が 8 分，女性が 9 分増加し，総数では 9 分増加している。（表 1－1）

③　平日は１次活動時間，土曜日は３次活動時間が減少，日曜日は３次活動時間が増加

生活時間を曜日別にみると，平日は 1 次活動時間が 10 時間 27 分，2 次活動時間が 7 時間 52 分，3 次活動時間が 5 時間 41 分，土曜日は 1 次活動時間が 11 時間 6 分，2 次活動時間が 5 時間 13 分，3 次活動時間が 7 時間 41 分，日曜日は 1 次活動時間が 11 時間 28 分，2 次活動時間が 4 時間 10 分，3 次活動時間が 8 時間 22 分となっており，1 次活動時間及び 3 次活動時間は日曜日が最も長く，2 次活動時間は平日が最も長くなっている。

平成 23 年と比べると，平日は 1 次活動時間が減少，2 次及び 3 次活動時間が増加となっている。土曜日は 2 次活動時間が増加，3 次活動時間が減少し，日曜日は 1 次及び 2 次活動時間が減少，3 時活動時間が増加となっている。（表 1－2）

---

1)　睡眠，食事など生理的に必要な活動
2)　仕事，家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
3)　1 次活動，2 次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

表 1－1　男女，行動の種類別生活時間（平成 23 年，28 年）－週全体

（時間．分）

	総　数			男			女		
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
1 次活動	10.48	10.41	-0.07	10.43	10.34	-0.09	10.53	10.48	-0.05
睡眠	7.46	7.37	-0.09	7.53	7.44	-0.09	7.40	7.30	-0.10
身の回りの用事	1.21	1.24	0.03	1.12	1.13	0.01	1.30	1.35	0.05
食事	1.40	1.39	-0.01	1.37	1.37	0.00	1.43	1.42	-0.01
2 次活動	6.53	6.57	0.04	6.50	6.47	-0.03	6.57	7.08	0.11
通勤・通学	0.32	0.33	0.01	0.40	0.41	0.01	0.24	0.26	0.02
仕事	3.40	3.34	-0.06	4.47	4.38	-0.09	2.32	2.29	-0.03
学業	0.42	0.44	0.02	0.43	0.46	0.03	0.40	0.41	0.01
家事	1.20	1.24	0.04	0.16	0.19	0.03	2.24	2.29	0.05
介護・看護	0.02	0.04	0.02	0.01	0.02	0.01	0.04	0.05	0.01
育児	0.12	0.12	0.00	0.04	0.04	0.00	0.20	0.21	0.01
買い物	0.26	0.27	0.01	0.18	0.17	-0.01	0.34	0.36	0.02
3 次活動	6.19	6.21	0.02	6.28	6.38	0.10	6.11	6.04	-0.07
移動(通勤・通学を除く)	0.29	0.30	0.01	0.27	0.27	0.00	0.31	0.33	0.02
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.24	2.20	-0.04	2.22	2.27	0.05	2.25	2.13	-0.12
休養・くつろぎ	1.29	1.38	0.09	1.30	1.38	0.08	1.28	1.37	0.09
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.11	0.11	0.00	0.12	0.10	-0.02	0.11	0.11	0.00
趣味・娯楽	0.45	0.44	-0.01	0.53	0.54	0.01	0.37	0.35	-0.02
スポーツ	0.13	0.15	0.02	0.16	0.20	0.04	0.10	0.10	0.00
ボランティア活動・社会参加活動	0.03	0.03	0.00	0.02	0.03	0.01	0.04	0.03	-0.01
交際・付き合い	0.18	0.16	-0.02	0.18	0.15	-0.03	0.18	0.17	-0.01
受診・療養	0.06	0.07	0.01	0.07	0.06	-0.01	0.06	0.09	0.03
その他	0.20	0.18	-0.02	0.20	0.17	-0.03	0.21	0.18	-0.03
（再掲）									
家事関連　1)	2.00	2.07	0.07	0.39	0.42	0.03	3.22	3.31	0.09
休養等自由時間活動　2)	3.53	3.58	0.05	3.52	4.05	0.13	3.53	3.50	-0.03
積極的自由時間活動　3)	1.12	1.13	0.01	1.23	1.27	0.04	1.02	0.59	-0.03

1）家事，介護・看護，育児及び買い物

2）テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

3）学習・自己啓発・訓練（学業以外），趣味・娯楽，スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

表 1－2　男女，行動の種類，曜日別生活時間（平成 23 年，28 年）

（時間．分）

		平成23年			平成28年			増　減		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10.35	11.06	11.30	10.27	11.06	11.28	-0.08	0.00	-0.02
	2次活動	7.46	5.08	4.17	7.52	5.13	4.10	0.06	0.05	-0.07
	3次活動	5.39	7.46	8.13	5.41	7.41	8.22	0.02	-0.05	0.09
男	1次活動	10.31	11.00	11.24	10.19	11.04	11.23	-0.12	0.04	-0.01
	2次活動	7.57	4.37	3.28	7.54	4.42	3.19	-0.03	0.05	-0.09
	3次活動	5.33	8.23	9.09	5.47	8.15	9.18	0.14	-0.08	0.09
女	1次活動	10.40	11.12	11.37	10.35	11.09	11.33	-0.05	-0.03	-0.04
	2次活動	7.35	5.40	5.06	7.50	5.43	5.01	0.15	0.03	-0.05
	3次活動	5.46	7.09	7.17	5.35	7.07	7.26	-0.11	-0.02	0.09

④ 1次活動時間，3次活動時間が本県，全国ともに増加

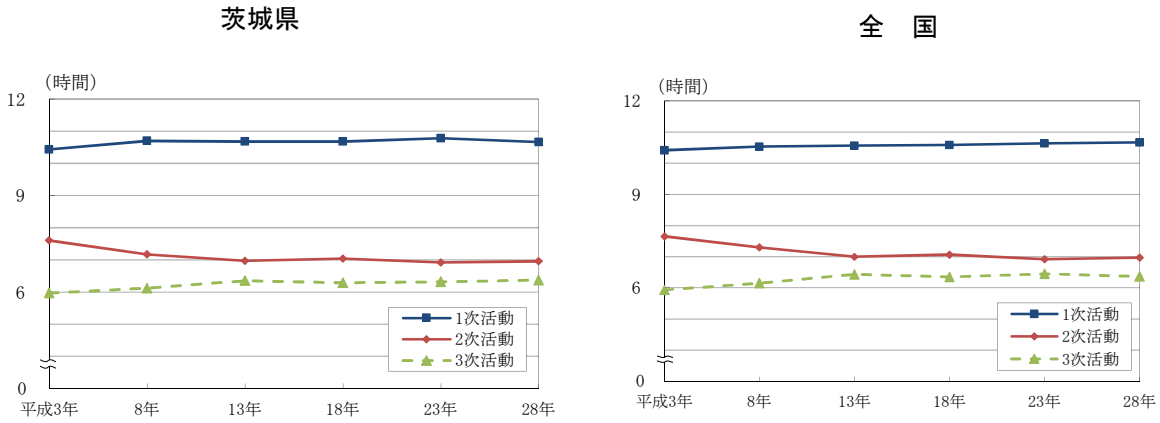
過去25年間の生活時間の推移を，比較可能な年齢区分である15 歳以上の人についてみると，本県，全国ともに2次活動時間は減少している。また本県，全国ともに1次活動時間，3次活動時間は増加している。（表1－3，図1－1）

表1－3　行動の種類別生活時間の推移（平成3年～平成28年）－週全体，15歳以上，茨城県・全国

（時間．分）

年　次	茨城県			全　国		
	1次活動	2次活動	3次活動	1次活動	2次活動	3次活動
平成３年	10.26	7.36	5.58	10.25	7.39	5.56
平成８年	10.42	7.10	6.07	10.32	7.18	6.09
平成13年	10.41	6.58	6.21	10.34	7.00	6.26
平成18年	10.41	7.02	6.17	10.35	7.04	6.21
平成23年	10.47	6.55	6.19	10.38	6.55	6.27
平成28年	10.40	6.57	6.22	10.40	6.58	6.22

図1－1　行動の種類別生活時間の推移（平成3年～平成28年）－週全体，15歳以上



（２） 年齢階級別にみる生活時間

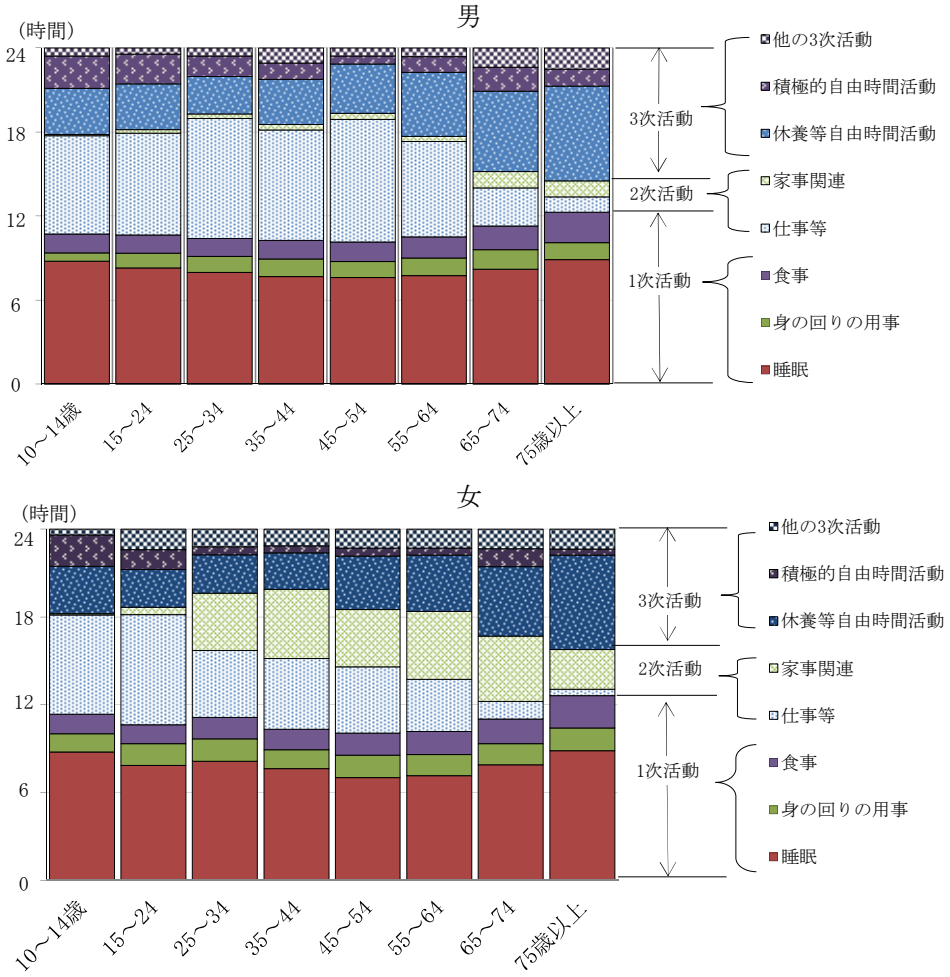
① ２次活動時間は男性が 45～54 歳，女性が 35～44 歳で最も長い

生活時間を年齢階級別にみると，1 次活動時間は，男女ともに 45～54 歳が最も短く（男性 9 時間 46 分，女性 10 時間 3 分），75 歳以上が最も長くなっている（男性 12 時間 5 分，女性 12 時間 18 分）。

2 次活動時間は，男女ともに 25～54 歳の各階級で 8 時間以上であり，男性は 45～54 歳（8 時間 59 分）が最も長く，女性は 35～44 歳（9 時間 33 分）が最も長くなっている。

3 次活動時間は，男性は 45～54 歳（5 時間 15 分）が最も短く，75 歳以上が最も長くなっている（9 時間 43 分）。女性は 35～44 歳（4 時間 24 分）が最も短く，75 歳以上が最も長くなっている（8 時間 7 分）。（図 1－2）

図 1－2 男女，年齢階級，行動の種類別生活時間 －週全体



注１） 「仕事等」は，「通勤・通学」，「仕事」及び「学業」
注２） 「他の 3 次活動」は，「移動（通勤・通学を除く）」，「交際・付き合い」，「受診・診療」及び「その他」

②　２次活動時間は男性が 55～64 歳，女性が 35～44 歳で最も増加

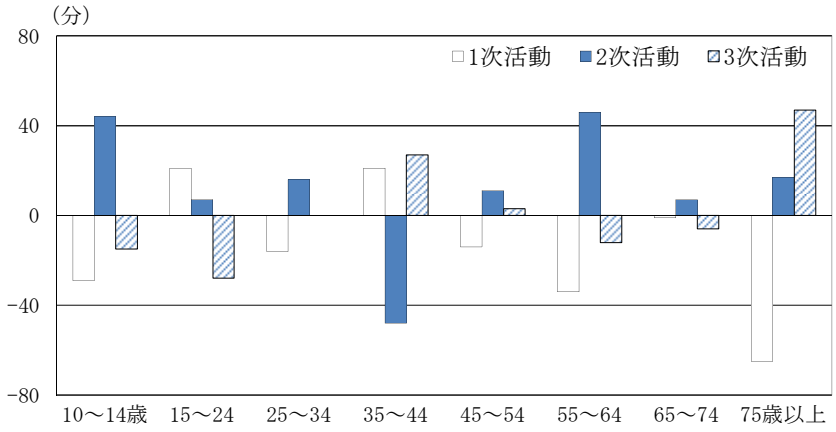
生活時間を年齢階級別に平成 23 年と比べると，1 次活動時間は，男性は 9 分の減少，女性は 5 分の減少となっている。年齢階級別にみると，男性は 75 歳以上で 65 分と最も減少し，15～24 歳及び 35～44 歳を除くすべての年齢階級で減少している。女性も 75 歳以上で 43 分と最も減少し，15～24 歳及び 55～64 歳でも減少している。

2 次活動時間は，男性は 3 分の減少，女性は 11 分の増加となっている。年齢階級別にみると，男性は 35～44 歳で 48 分と大きく減少しているが，その他の年齢階級ではすべて増加している。女性は 35～44 歳で 66 分と大きく増加し，15～24 歳及び 45～54 歳を除くすべての年齢階級で増加となった。

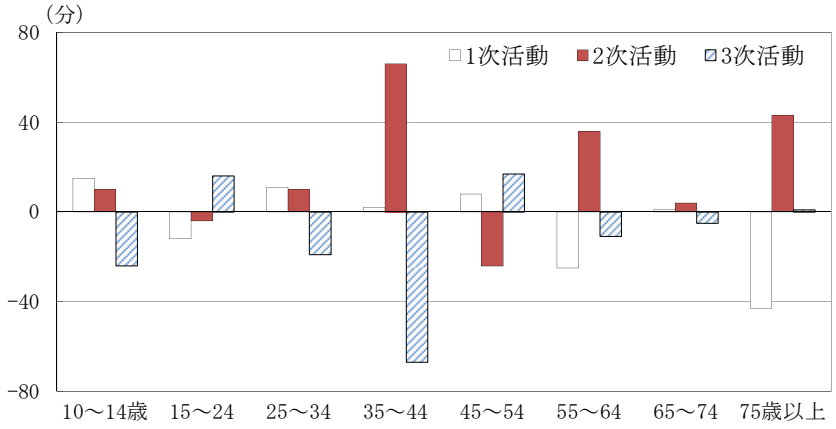
3 次活動時間は，男性は 10 分の増加，女性は 7 分の減少となっている。年齢階級別にみると，男性は 75 歳以上で 47 分と大きく増加しているほか，35～44 歳及び 45～54 歳で増加している。女性は 35～44 歳で 67 分と大きく減少しているほか，10～14 歳，25～34 歳及び 55～74 歳で減少している。（図 1－3）

図 1－3　男女，年齢階級，行動の種類別生活時間の増減（平成 23, 28 年）－週全体

男



女

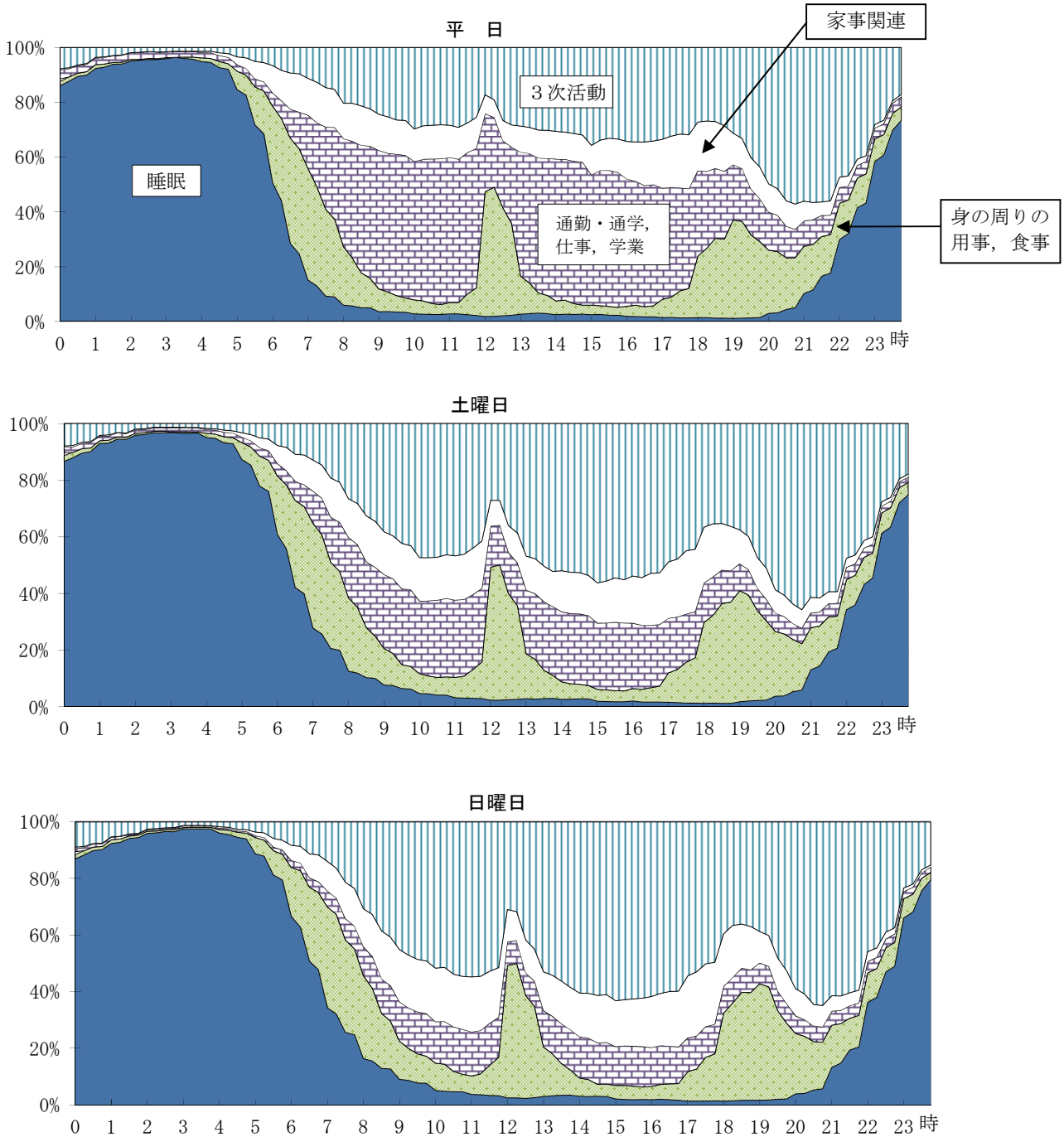


（３）　時間帯別にみる行動者率

①　平日に３次活動の行動者率が５割を超えるのは，20 時 15 分から 22 時までの間

行動者率（人口に占める行動者数の割合）を曜日，時間帯別にみると，3 次活動の行動者率が 5 割を超えるのは，平日では 20 時 15 分から 22 時までの間，土曜日は 13 時 30 分から 17 時までの間及び 19 時 45 分から 22 時までの間，日曜日は 10 時から 12 時までの間，13 時から 17 時 45 分までの間及び 19 時 45 分から 22 時までの間となっている。(図 1－4)

図 1－4　曜日，行動の種類，時間帯別行動者率



２　家事関連時間

（１）家事関連時間は男性が増加傾向。女性も平成 23 年と比べて増加

家事関連時間[1)]を男女別にみると，男性は 42 分，女性は 3 時間 31 分で，平成 23 年と比べると，男性は 3 分，女性は 9 分の増加となっている。（図 2－1）

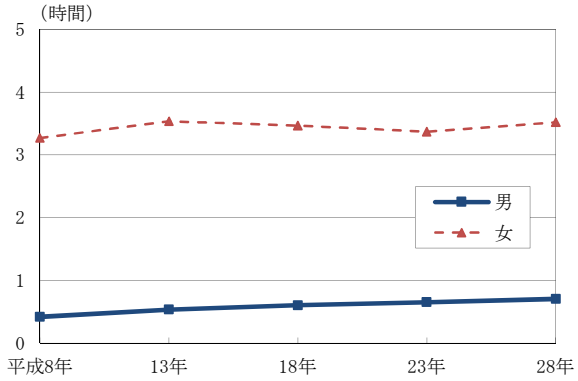
過去 20 年間の家事関連時間の推移をみると，男性は増加傾向であり，平成 8 年と平成 28 年を比べると 17 分増加している。一方，女性は，平成 13 年以降減少してきたが，平成 28 年は平成 23 年より 9 分増加した。男女の差は 2 時間 49 分で，依然として差は大きい。（表 2－1，図 2－1）

表 2－1　男女別家事関連時間
（平成 8 年～平成 28 年）―週全体

（時間．分）

	男	女	男女差
平成8年	0．25	3．16	-2．51
平成13年	0．32	3．32	-3．00
平成18年	0．36	3．28	-2．52
平成23年	0．39	3．22	-2．43
平成28年	0．42	3．31	-2．49

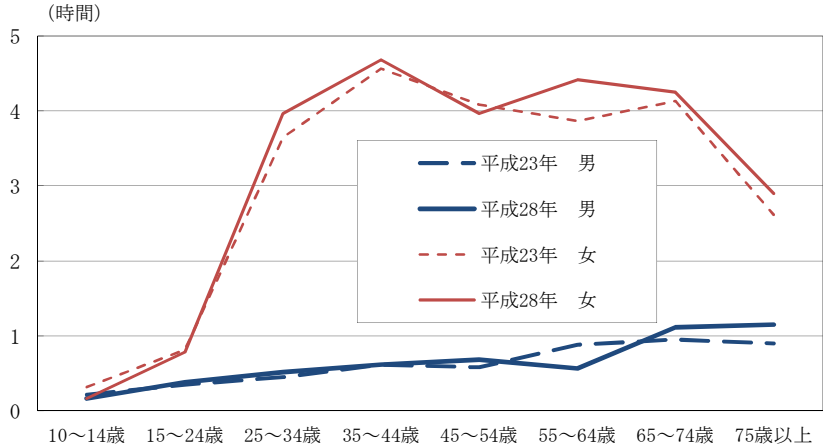
図 2－1　男女別家事関連時間の推移
（平成 8 年～平成 28 年）―週全体



（２）女性は 25～34 歳，55～64 歳などで家事関連時間が増加

家事関連時間を男女，年齢階級別に平成 23 年と比べると，女性は 25～34 歳，55～64 歳などで家事関連時間が増加している。特に 55～64 歳は 33 分と大幅に増加している。一方男性は 10～14 歳，55～64 歳以外のすべての年齢階級で増加している。（図 2－2）

図 2－2　男女，年齢階級別家事関連時間（平成 23 年，28 年）－週全体



1)家事関連時間は，「家事」，「介護・看護」，「育児」及び「買い物」

（３）男女ともに各項目で時間が増加

家事関連時間の内訳を男女別に平成 23 年と比べると，男性の育児及び買い物を除くすべての項目で時間が増加している。男性は家事が 3 分，介護・看護が 1 分増加，女性は家事が 5 分，買い物が 2 分増加している。（表 2－2）

表 2-2　男女別家事関連時間（平成 23 年，28 年）―週全体

（時間.分）

	総数			男			女		
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
家事関連	2.00	2.07	0.07	0.39	0.42	0.03	3.22	3.31	0.09
家事	1.20	1.24	0.04	0.16	0.19	0.03	2.24	2.29	0.05
介護・看護	0.02	0.04	0.02	0.01	0.02	0.01	0.04	0.05	0.01
育児	0.12	0.12	0.00	0.04	0.04	0.00	0.20	0.21	0.01
買い物	0.26	0.27	0.01	0.18	0.17	-0.01	0.34	0.36	0.02

（４）男性の家事時間は増加傾向

家事関連時間のうち家事時間について，男女，年齢階級別に平成 23 年と比べると，男性は 55～64 歳で 11 分減少，女性は 45～54 歳で 14 分減少しているが，男性は 75 歳以上で 10 分，女性は 25～34 歳で 13 分と大きく増加している。（図 2－4）

過去 20 年間の家事時間の推移を男女別にみると，男性は増加傾向，女性は平成 13 年から 23 年にかけて減少してきたが，平成 28 年では増加している。

図 2－3　男女，年齢階級別家事時間
（平成 23 年，28 年）－週全体

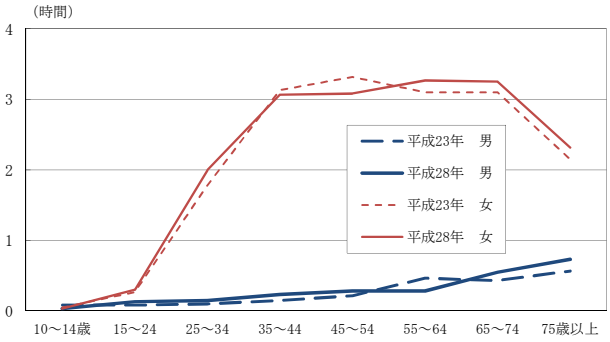
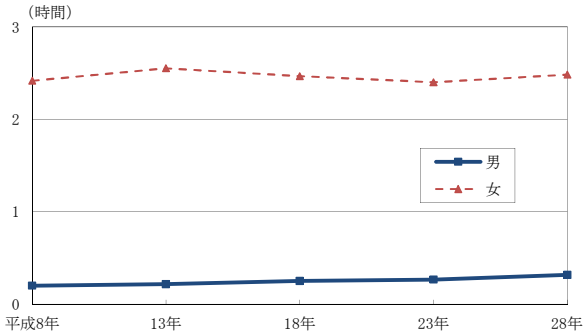


図 2－4　男女別家事時間の推移
（平成 8 年～28 年）－週全体



（５）育児時間は 35～44 歳の女性で 20 分の増加

家事関連時間のうち育児時間について，男女別，年齢階級別に平成 23 年と比べると，男性は 35～44 歳を除くすべての年齢階級で同じか増加している。女性は 35～44 歳では 20 分増加した。（図 2－5）

過去 20 年間の育児時間の推移を男女別にみると，男性は平成 18 年以降，4 分で変更がない。女性は減少傾向にあったが，平成 28 年は平成 23 年より 1 分増加した。（図 2－6）

図 2-5　男女，年齢階級別育児時間
（平成 23 年，28 年）－週全体

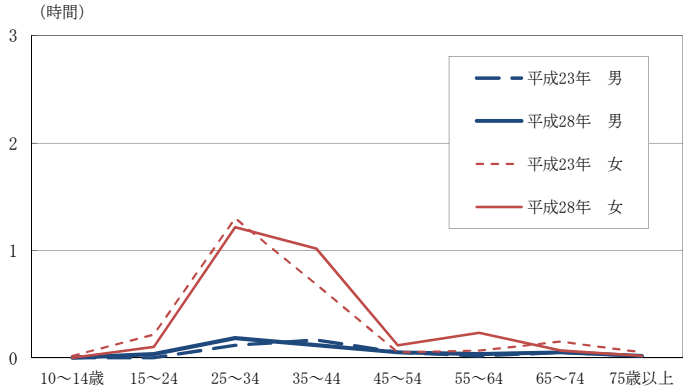
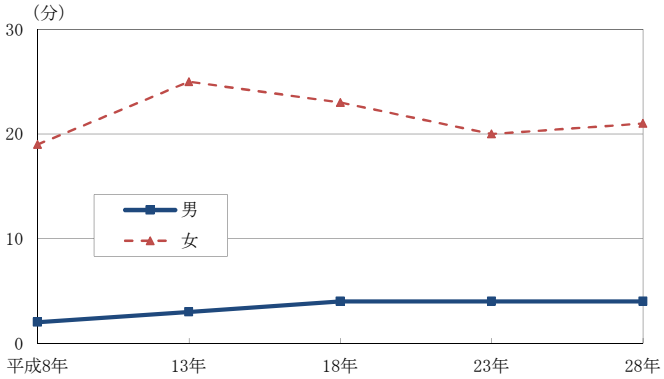


図 2-6　男女別育児時間の推移
（平成 8 年～28 年）－週全体



（６）介護・看護時間は男女ともに増加傾向

家事関連時間のうち介護・看護時間について，男女，年齢階級別に平成 23 年と比べると，女性は 35～44 歳以外のすべての年齢階級で増加している。特に 25～34 歳，55～64 歳は 3 分の増加となっている。また男性も 45～54 歳で 3 分増加している。（図 2－7）

過去 20 年間の介護・看護時間の推移を男女別にみると，男女とも平成 13 年以降，同時間が続いたが，平成 28 年は増加した。（図 2－8）

図 2-7　男女，年齢階級別介護・看護時間
（平成 23 年，28 年）—週全体

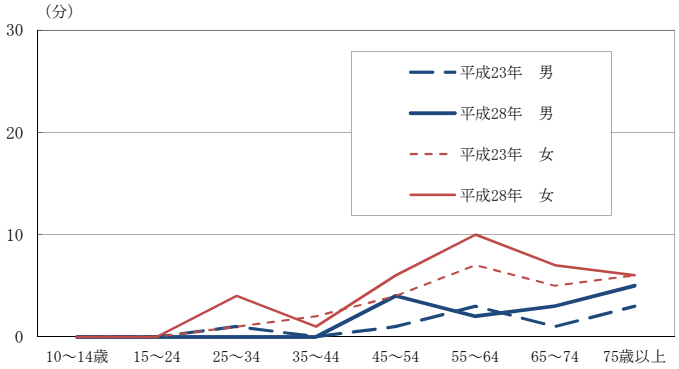
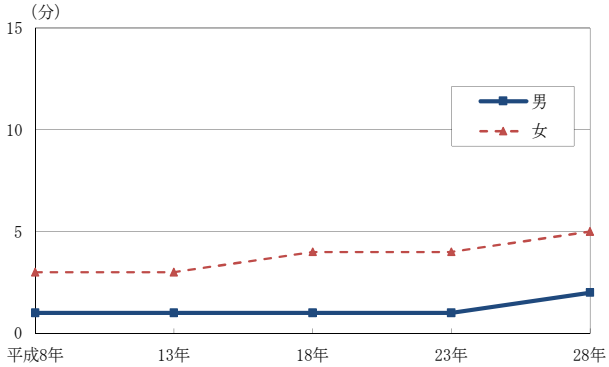


図 2-8　男女別介護・看護時間の推移
（平成 8 年～28 年）—週全体



（７）60 歳以上の介護者数が増加

15 歳以上でふだん家族を介護している人（以下「介護者」という。）は 17 万人で，平成 23 年と比べ 1 千人の減少となっている。男女別にみると，男性が 6 万 4 千人で 8 千人の減少，女性が 10 万 6 千人で 7 千人の増加となっている。年齢階級別にみると，60 歳以上が介護者全体の 5 割を占めている。（表 2－3）

介護者のうち，調査当日に実際に介護・看護を行った人の平均時間（行動者平均時間）を平成 23 年と比べると，男性が 3 時間 8 分で 42 分増加，女性が 2 時間 7 分で 8 分減少している。行動者平均時間は男性が女性を 1 時間 1 分上回り，差が平成 23 年から拡大した。（表 2－3）

表 2－3　男女，年齢階級別介護者数及び行動者平均時間（平成 23 年，28 年）
－週全体，15 歳以上

	介護者数								
	平成23年			平成28年			増減		
	実数（千人）	人口比（%）	構成比（%）	実数（千人）	人口比（%）	構成比（%）	実数（千人）	人口比（ポイント）	構成比（ポイント）
総数	171	6.8	100.0	170	6.9	100.0	-1	0.1	0.0
40-49歳	26	6.8	15.2	22	5.2	12.9	-4	-1.6	-2.3
50-59歳	50	12.9	29.2	42	11.9	24.7	-8	-1.0	-4.5
60-69歳	47	10.8	27.5	55	12.3	32.4	8	1.5	4.9
70歳以上	27	6.0	15.8	30	6.0	17.6	3	0.0	1.8
男	72	5.8	42.1	64	5.2	37.6	-8	-0.6	-4.5
40-49歳	9	4.6	5.3	9	4.1	5.3	0	-0.5	0.0
50-59歳	18	9.2	10.5	16	9.0	9.4	-2	-0.2	-1.1
60-69歳	22	10.2	12.9	21	9.5	12.4	-1	-0.7	-0.5
70歳以上	11	5.7	6.4	14	6.3	8.2	3	0.6	1.8
女	99	7.9	57.9	106	8.5	62.3	7	0.6	4.4
40-49歳	16	8.6	9.4	13	6.4	7.6	-3	-2.2	-1.8
50-59歳	32	16.6	18.7	26	14.9	15.2	-6	-1.7	-3.5
60-69歳	25	11.5	14.6	34	15.0	20.0	9	3.5	5.4
70歳以上	16	6.3	9.4	16	5.7	9.4	0	-0.6	0.0

	行動者平均時間		
	平成23年（時間.	平成28年（時間.	増減（時間.
総数	2.16	2.20	0.04
40-49歳	3.32	2.19	-1.13
50-59歳	1.55	1.53	-0.02
60-69歳	2.50	2.26	-0.24
70歳以上	2.27	3.18	0.51
男	2.26	3.08	0.42
40-49歳	5.30	3.53	-1.37
50-59歳	2.15	2.47	0.32
60-69歳	2.47	2.59	0.12
70歳以上	2.04	3.38	1.34
女	2.15	2.07	-0.08
40-49歳	3.28	2.05	-1.23
50-59歳	1.56	1.34	-0.22
60-69歳	2.45	2.22	-0.23
70歳以上	2.29	2.34	0.05

３　仕事時間

（１）仕事時間は男性が 45～54 歳，女性が 35～44 歳で最も長い

有業者（15 歳以上。以下同じ。）についてみると，有業者数は 157 万 3 千人，有業率[1)] は 63.8%となっており，平成 23 年と比べ，有業者数は 1 万 7 千人の減少，有業率は 0.2 ポイント上昇となっている。（表 3－1）

有業者の仕事時間は，男性は 6 時間 45 分，女性は 4 時間 39 分で，平成 23 年と比べると，男性は 5 分，女性は 14 分の減少となっている。年齢階級別にみると，仕事時間で男性は 45～54 歳，女性は 35～44 歳が最も長い。男性は 45 歳未満のすべての年齢階級で減少となっている。女性は 35～44 歳及び 75 歳以上を除くすべての年齢階級で減少した。（表 3－2，図 3－1）

表 3－1　男女別有業者数及び有業率（平成 23 年，28 年）－15 歳以上

	平成23年		平成28年		増減	
	有業者数（千人）	有業率（%）	有業者数（千人）	有業率（%）	有業者数（千人）	有業率（ﾎﾟｲﾝﾄ）
総数	1,590	63.6	1,573	63.8	-17	0.2
男	917	73.7	887	72.2	-30	-1.5
女	673	53.6	687	55.4	14	1.8

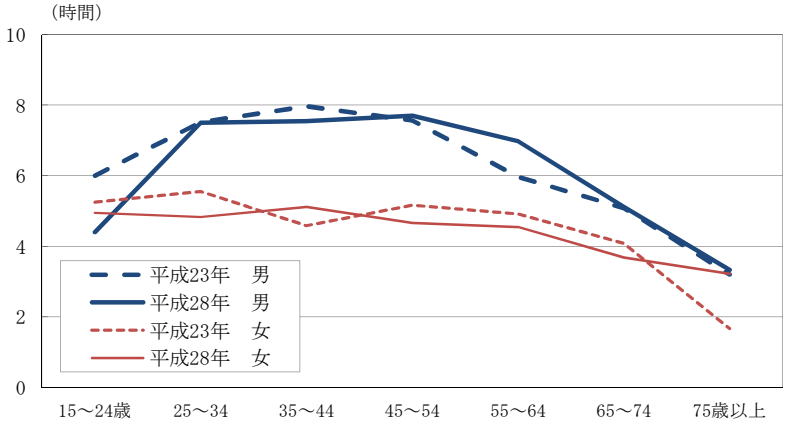
表 3－2　男女，年齢階級別仕事時間（平成 23 年，28 年）－週全体，有業者

（時間．分）

年　齢	総　数			男			女			男女差（男－女）
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成28年
総　数	6.00	5.50	-0.10	6.50	6.45	-0.05	4.53	4.39	-0.14	2.06
15～24歳	5.35	4.40	-0.55	6.00	4.24	-1.36	5.15	4.57	-0.18	-0.33
25～34歳	6.41	6.21	-0.20	7.31	7.30	-0.01	5.33	4.50	-0.43	2.40
35～44歳	6.35	6.27	-0.08	7.58	7.33	-0.25	4.35	5.07	0.32	2.26
45～54歳	6.30	6.22	-0.08	7.34	7.42	0.08	5.10	4.40	-0.30	3.02
55～64歳	5.31	5.54	0.23	5.58	6.59	1.01	4.55	4.33	-0.22	2.26
65～74歳	4.43	4.34	-0.09	5.05	5.07	0.02	4.05	3.41	-0.24	1.26
75歳以上	2.38	3.21	0.43	3.12	3.20	0.08	1.40	3.13	1.33	0.07

1)人口に占める有業者の割合（ふだんの就業状態不詳を除き算出）

図 3－1　男女，年齢階級別仕事時間（平成 23 年，28 年）－週全体，有業者



（２）男性は平日の仕事時間が減少，女性はすべての曜日で仕事時間が減少

有業者の仕事時間を曜日別にみると，平日は 6 時間 56 分，土曜日は 3 時間 51 分，日曜日は 2 時間 19 分となっている。

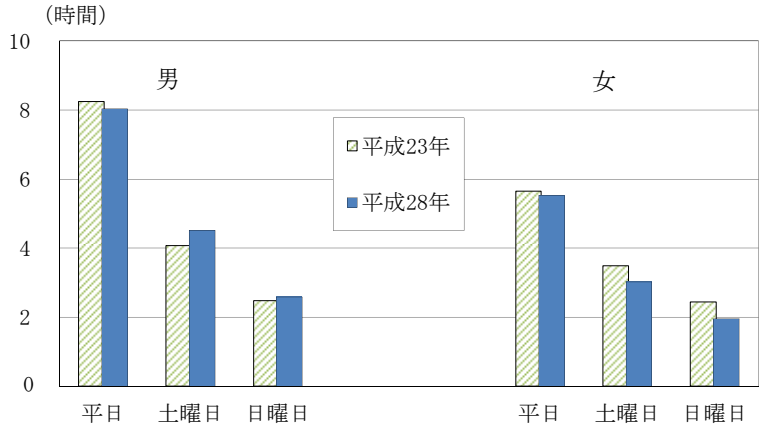
男女別にみると，男性は，平日が 8 時間 2 分，土曜日が 4 時間 31 分，日曜日が 2 時間 35 分となっており，女性は，平日が 5 時間 31 分，土曜日が 3 時間 1 分，日曜日が 1 時間 57 分となっている。平成 23 年と比べると，男性は，平日が減少，土曜日及び日曜日が増加している。一方，女性は，すべての曜日で減少している。（表 3－3，図 3－2）

表 3－3　男女，曜日別仕事時間（平成 23 年，28 年）－有業者

（時間．分）

曜　日	総　数			男			女		
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
平　日	7.08	6.56	-0.12	8.15	8.02	-0.13	5.39	5.31	-0.08
土曜日	3.50	3.51	0.01	4.04	4.31	0.27	3.29	3.01	-0.28
日曜日	2.28	2.19	-0.09	2.29	2.35	0.06	2.26	1.57	-0.29

図 3－2　男女，曜日別仕事時間（平成 23 年，28 年）－有業者



（３）女性の仕事時間は過去 25 年間で 48 分減少

過去 25 年間の仕事時間の推移を，比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について男女別にみると，男性は平成 3 年以降減少が続き，18 年に増加に転じたが，23 年から再び減少した。女性は平成 18 年まで減少が続き，23 年で増加に転じたが 28 年で再び減少した。

平成 3 年と比べると，男性が 17 分，女性が 48 分の減少となっている。

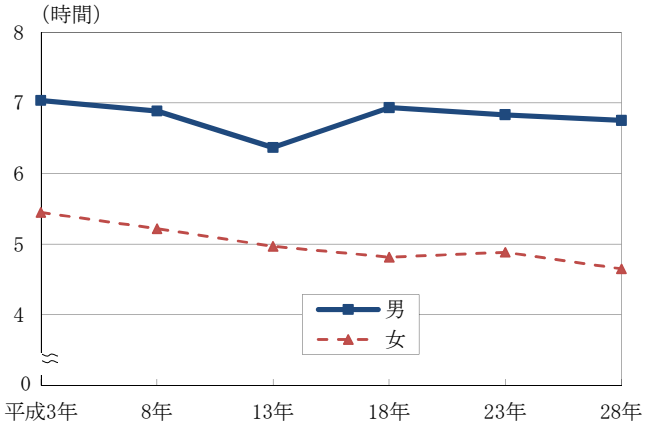
全国と比較すると，男性は 4 分，女性は 8 分下回っている。（表 3－4，図 3－3）

表 3－4　男女別仕事時間の推移（平成 3 年～平成 28 年）－週全体，有業者
茨城県・全国

（時間．分）

年　次	茨城県		全　国		茨城県－全国	
	男	女	男	女	男	女
平成３年	7.02	5.27	7.10	5.24	-0.08	0.03
平成８年	6.53	5.13	7.00	5.11	0.10	0.02
平成13年	6.22	4.58	6.48	4.51	-0.26	0.07
平成18年	6.56	4.49	7.00	5.00	-0.44	-0.51
平成23年	6.50	4.53	6.56	4.50	-0.06	0.03
平成28年	6.45	4.39	6.49	4.47	-0.04	-0.08

図 3－3　男女別仕事時間の推移（平成 3 年～平成 28 年）－週全体，有業者
茨城県



（４）雇用されている人の仕事時間は 5 時間 54 分，自営業主は 5 時間 19 分

有業者について，従業上の地位別に仕事時間をみると，雇用されている人が 5 時間 54 分，自営業主が 5 時間 19 分となっている。男女別にみると，男性は雇用されている人が 6 時間 53 分，自営業主が 5 時間 46 分となっており，女性は雇用されている人が 4 時間 41 分，自営業主が 3 時間 35 分となっている。

雇用されている人について，雇用形態別に仕事時間をみると，正規の職員・従業員が 7 時間 6 分，パートが 4 時間 6 分，アルバイトが 3 時間 7 分となっている。

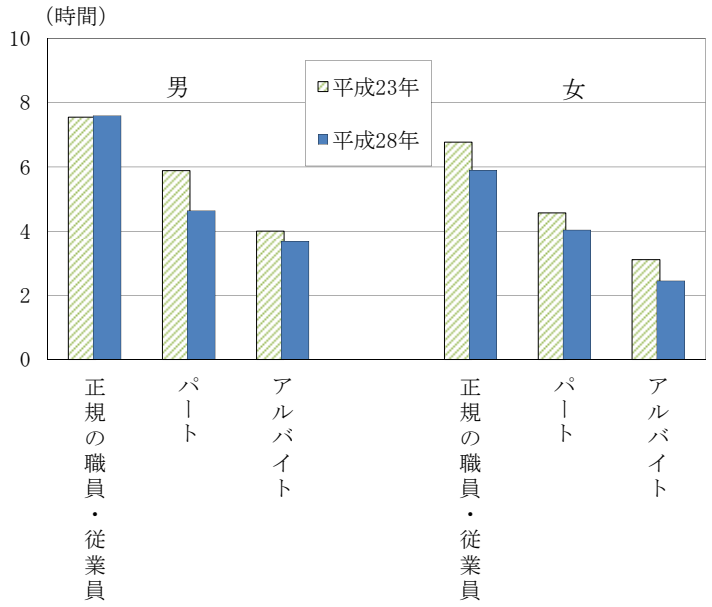
これを平成 23 年と比べると，正規の職員・従業員は 16 分減少，パートは 32 分減少，アルバイトは 22 分減少している。　（表 3－5，図 3－4）

表 3－5　男女，従業上の地位，雇用形態別仕事時間（平成 23 年，28 年）－週全体，有業者

（時間．分）

従業上の地位 雇用形態	総数			男			女		
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
雇用されている人	6.12	5.54	-0.18	7.07	6.53	-0.14	5.07	4.41	-0.26
正規の職員・従業員	7.22	7.06	-0.16	7.33	7.36	0.03	6.46	5.54	-0.52
パート	4.38	4.06	-0.32	5.53	4.38	-1.15	4.34	4.02	-0.32
アルバイト	3.29	3.07	-0.22	4.00	3.41	-0.19	3.07	2.27	-0.40
自営業主	5.53	5.19	-0.34	6.07	5.46	-0.21	4.32	3.35	-0.57

図 3－4　男女，雇用形態別仕事時間（平成 23 年，28 年）－週全体，雇用されている人



4　夫と妻の生活時間

（1）子供の成長に伴い，妻の家事関連時間は大きく変化

子供がいる世帯の夫と妻の家事関連時間をみると，妻は子供の成長に伴い育児時間が大幅に減少している。0歳の子を持つ妻の育児時間は4時間53分だが，18歳以上の子を持つ妻は4分である。また，妻の家事時間は子の年齢が上がるにつれて増加するが，12～14歳の子を持つ妻の4時間19分の家事時間をピークとして減少している。

子供がいる世帯の夫の家事関連時間をみると，育児時間は0歳の子を持つ夫が1時間24分であり，子供の年齢が上がるにつれて大幅に減少する。また，夫の家事時間は子供の年齢にかかわらず，ほぼ一定の時間である。（表4－1）

表4－1　末子の年齢階級別夫・妻の家事関連時間（平成28年）－週全体，夫婦と子供の世帯

（時間.分）

末子の年齢階級	夫				妻			
	家事	介護・看護	育児	買い物	家事	介護・看護	育児	買い物
0歳	0.16	0.02	1.24	0.13	2.58	0.06	4.53	0.44
1～2歳	0.09	0.02	0.29	0.19	3.22	0.01	3.10	0.31
3～5歳	0.22	0.01	0.13	0.22	3.35	0.05	1.44	0.29
6～11歳	0.11	0.01	0.05	0.13	4.15	0.01	0.44	0.41
12～14歳	0.06	－	0.00	0.15	4.19	0.12	0.14	0.30
15～17歳	0.17	0.03	－	0.11	3.38	0.03	0.00	0.42
18歳以上	0.22	0.05	0.03	0.19	3.42	0.14	0.04	0.44

（２）過去 10 年間で夫・妻ともに家事時間が増加

過去 10 年間の夫と妻の家事時間の推移を末子の年齢階級別にみると，妻の家事時間は，ほとんどの末子の年齢階級において過去 10 年間の間に増加している。特に 12 歳～14 歳の末子を持つ妻は，平成 18 年に 2 時間 52 分だった家事時間が平成 28 年は 4 時間 19 分となり，大幅に増加している。夫の家事時間も妻と同様に，過去 10 年間で増加傾向にある。(表 4－2)

過去 10 年間の夫と妻の育児時間の推移を末子の年齢階級別にみると，平成 28 年は 0 歳の末子を持つ夫が，1 時間 24 分と他の年齢階級の末子を持つ夫に比べて格段に長く，平成 23 年と比べても 57 分の増加で，増加幅が大きい。妻の育児時間に関しては，過去 10 年間で 0～5 歳の末子を持つ妻の育児時間は緩やかな減少傾向であり，6～12 歳の末子を持つ妻は緩やかな上昇傾向にある。(表 4－3)

表 4－2　末子の年齢階級別夫・妻の家事時間の推移（平成 18 年～28 年）
－週全体，夫婦と子供の世帯の夫・妻

（時間.分）

末子の年齢階級	夫			妻		
	平成18年	平成23年	平成28年	平成18年	平成23年	平成28年
0歳	0.10	0.12	0.16	2.45	2.06	2.58
1～2歳	0.10	0.16	0.09	3.15	2.52	3.22
3～5歳	0.09	0.08	0.22	4.06	3.35	3.35
6～11歳	0.12	0.11	0.11	4.00	4.06	4.15
12～14歳	0.14	0.08	0.06	2.52	3.32	4.19

表 4－3　末子の年齢階級別夫・妻の育児時間の推移（平成 18 年～28 年）
－週全体，夫婦と子供の世帯の夫・妻

（時間.分）

末子の年齢階級	夫			妻		
	平成18年	平成23年	平成28年	平成18年	平成23年	平成28年
0歳	0.54	0.27	1.24	5.33	4.02	4.53
1～2歳	0.32	0.44	0.29	3.15	3.47	3.10
3～5歳	0.18	0.12	0.13	1.32	2.10	1.44
6～11歳	0.06	0.07	0.05	0.22	0.29	0.44
12～14歳	0.00	0.02	0.00	0.10	0.08	0.14

（３）共働き世帯の妻の生活時間は，仕事が減少，家事が横ばいで，育児は増加傾向

子供がいる世帯のうち，「共働き世帯」及び「夫が有業で妻が無業の世帯」について，過去10年間の夫と妻の生活時間の推移をみると，「共働き世帯」の夫は仕事時間，家事時間及び育児時間のすべてにおいて緩やかに増加している。また，「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫は仕事時間と家事時間が増加しているが，育児時間はわずかに減少している。

「共働き世帯」の妻は仕事時間が減少，家事時間が横ばいで，育児時間が増加している。「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻は家事時間，育児時間ともに増加している。（表4－4）

表4－4　共働きか否か，行動の種類別生活時間の推移（平成18～28年）
－週全体，夫婦と子供の世帯の夫・妻

（時間.分）

		共働き世帯			夫が有業で妻が無業の世帯		
		平成18年	平成23年	平成28年	平成18年	平成23年	平成28年
夫	仕事	7.26	7.30	7.48	6.56	7.03	7.34
	家事	0.10	0.12	0.14	0.10	0.10	0.14
	育児	0.06	0.09	0.11	0.15	0.14	0.11
妻	仕事	4.43	4.31	4.24	0.02	0.05	0.01
	家事	3.16	3.18	3.15	4.37	4.31	5.05
	育児	0.22	0.39	0.41	1.58	1.41	2.00

5　高齢者の生活時間

（１）高齢者の仕事等の時間が減少，家事時間は増加

65 歳以上の高齢者の生活時間について，平成 23 年と比べると，仕事等[1)]時間が 7 分増加し，家事関連時間は 12 分増加している。男女別にみると，家事関連の中でも特に家事時間は，男性が 8 分，女性が 12 分増加しており，全体でも 9 分の増加である。続いて買い物時間は男性が 2 分，女性が 6 分の増加で，全体では 4 分増加しており，家事時間の次に増加している。(表 5－1)

表 5－1　男女，主な行動の種類別生活時間（平成 23 年，28 年）－週全体，65 歳以上

（時間.分）

	総数			男			女		
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
仕事等	1.22	1.29	0.07	2.06	2.06	0.00	0.46	0.57	0.11
家事関連	2.15	2.27	0.12	0.55	1.07	0.12	3.21	3.37	0.16
家事	1.39	1.48	0.09	0.29	0.37	0.08	2.37	2.49	0.12
介護・看護	0.04	0.05	0.01	0.02	0.04	0.02	0.05	0.07	0.02
育児	0.04	0.02	-0.02	0.02	0.02	0.00	0.06	0.02	-0.04
買い物	0.28	0.32	0.04	0.22	0.24	0.02	0.33	0.39	0.06

（２）高齢者の有業者数，有業率が増加

65 歳以上の高齢者の有業者数は 22 万 4 千人で，平成 23 年と比べると，4 万 5 千人の増加となっており，有業率は 1.8 ポイント上昇している。男女別に平成 23 年と比べると，男性が 13 万 6 千人で 2 万人増加，女性が 8 万 7 千人で 2 万 4 千人増加している。有業率は男性が 40.5%で，平成 23 年と比べると 0.5 ポイント低下しているが，女性は 21.6%で 3.4 ポイント上昇している。(表 5－2)

表 5－2　男女別有業者数，有業率（平成 23 年，28 年）－週全体，65 歳以上有業者

	平成23年		平成28年		増減	
	有業者数（千人）	有業率（%）	有業者数（千人）	有業率（%）	有業者数（千人）	有業率（ﾎﾟｲﾝﾄ）
総数	179	28.4	224	30.2	45	1.8
男	116	41.0	136	40.5	20	-0.5
女	63	18.2	87	21.6	24	3.4

1）仕事等は，「通勤・通学」，「仕事」及び「学業」

（３）高齢者の仕事時間は減少傾向

65 歳以上の高齢者のうち有業者の仕事時間について過去 10 年間の推移をみると，全体として減少傾向にある。平成 28 年は 4 時間 9 分で，平成 18 年と比べると 45 分減少している。平成 28 年の男性の仕事時間は 4 時間 32 分で，平成 18 年と比べると 52 分減少し，女性の仕事時間は 3 時間 33 分で，平成 18 年と比べると 41 分減少している（表 5－3）

表 5－3　男女別仕事時間の推移（平成 18 年～平成 28 年）－週全体，65 歳以上有業者

（時間，分）

	平成18年	平成23年	平成28年
総数	4.54	4.11	4.09
男	5.24	4.36	4.32
女	4.14	3.23	3.33

（４）高齢者の介護者数が増加，介護者の介護・看護時間も減少

65 歳以上の高齢者のうち，介護者は 5 万 8 千人で，平成 23 年と比べると 1 万 7 千人増加している。男性の介護者は 2 万 6 千人で，平成 23 年と比べると 9 千人増加している。女性の介護者は 3 万 2 千人で，8 千人増加している。

また，介護者のうち，調査当日に実際に介護・看護を行った人の平均時間（行動者平均時間）をみると，2 時間 45 分で，平成 23 年と比べると 13 分の増加である。男女別にみると，男性は 3 時間 35 分で，平成 23 年と比べると 1 時間 25 分と大幅に増加した。女性は 2 時間 24 分で平成 23 年と比べ，5 分減少した。（表 5－4）

表 5－4　男女別介護者数，行動者平均時間（平成 23 年，28 年）－週全体，65 歳以上

	介護者数（千人）			行動者平均時間（時.分）		
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減
総数	41	58	17	2.32	2.45	0.13
男	17	26	9	2.10	3.35	1.25
女	24	32	8	2.29	2.24	-0.05

６　スマートフォン・パソコンなどの使用状況

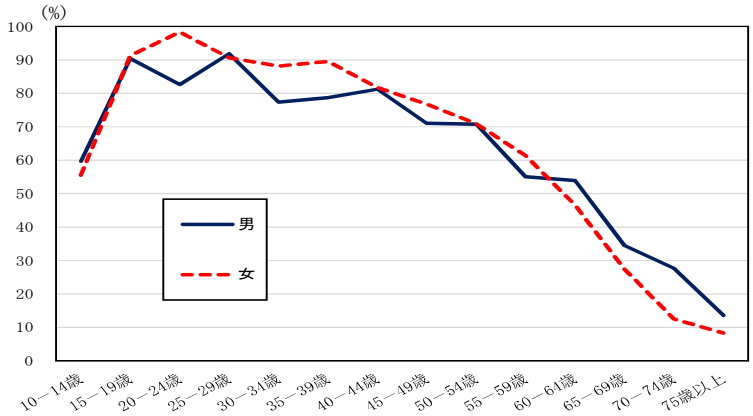
（１）スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合は，男性は 25～29 歳，女性は 20～24 歳で最も高い

スマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合[1)]（以下「使用割合」という。）は，男性が 60.6 %，女性が 57.2 %となっている。男女，年齢階級別にみると，男性は 25～29 歳で 91.9 %と最も高く，女性は 20～24 歳で 98.3 %と最も高くなっている。男女ともに 15～54 歳にかけて使用割合が 70 %を超えている。（表 6－1，図 6－1）

表 6－1　男女，年齢階級別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人数及び割合（平成 28 年）－週全体

	男			女		
	人口（千人）	使用した人（千人）	使用割合（%）	人口（千人）	使用した人（千人）	使用割合（%）
総数	1,301	788	60.6	1,303	745	57.2
10－14歳	67	40	59.7	63	35	55.6
15－19歳	73	66	90.4	69	63	91.3
20－24歳	69	57	82.6	60	59	98.3
25－29歳	74	68	91.9	64	58	90.6
30－34歳	84	65	77.4	76	67	88.2
35－39歳	94	74	78.7	86	77	89.5
40－44歳	112	91	81.3	104	85	81.7
45－49歳	107	76	71.0	99	76	76.8
50－54歳	89	63	70.8	86	61	70.9
55－59歳	89	49	55.1	88	54	61.4
60－64歳	102	55	53.9	103	48	46.6
65－69歳	119	41	34.5	124	34	27.4
70－74歳	83	23	27.7	88	11	12.5
75歳以上	140	19	13.6	193	16	8.3

図 6－1　男女，年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用割合（平成 28 年）－週全体



注）ここでいう「スマートフォン・パソコンなど」とは，スマートフォン・パソコンのほか，スマートフォン以外の携帯電話，タブレット型端末を含む。
注）ここでいう「スマートフォン・パソコンなどの使用」とは，学業，仕事以外の目的で使用した場合をいう。
1）スマートフォン・パソコンなどの使用割合は，人口に占めるスマートフォン・パソコンなどを使用した人の割合を算出

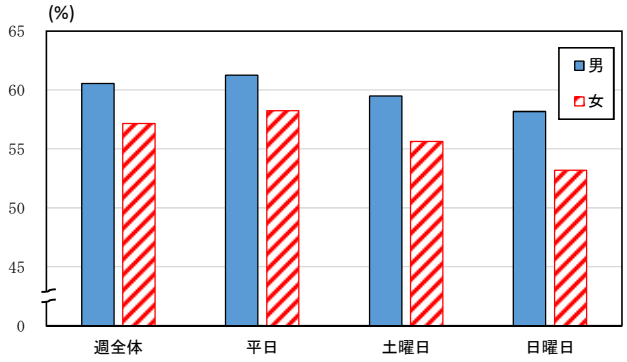
（２）男女とも平日の使用割合が最も高い

曜日別,男女別に使用人数,使用割合をみると,男性は平日が79万7千人で使用割合が61.3％であり，土曜日・日曜日より使用割合が高くなっている。女性も同様に平日が75万9千人，使用割合が58.3 ％で，土曜日・日曜日より使用割合が高くなっている。男女ともに使用割合は日曜日，土曜日，平日の順で高くなっている。（表6－2，図6－2）

表6－2　男女，曜日別スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人数及び割合（平成28年）－週全体

	週全体			平日			土曜日			日曜日		
	人口（千人）	使用した人（千人）	使用割合（%）	人口（千人）	使用した人（千人）	使用割合（%）	人口（千人）	使用した人（千人）	使用割合（%）	人口（千人）	使用した人（千人）	使用割合（%）
総数	2,604	1,533	58.9	2,604	1,556	59.8	2,604	1,499	57.6	2,604	1,449	55.6
男	1,301	788	60.6	1,301	797	61.3	1,301	774	59.5	1,301	757	58.2
女	1,303	745	57.2	1,303	759	58.3	1,303	725	55.6	1,303	693	53.2

図6－2　男女，曜日別スマートフォン・パソコンなどの使用割合（平成28年）－週全体



（３）スマートフォン・パソコンなどの使用時間は，1－３時間未満が最多

スマートフォン・パソコンの使用について，使用時間別にみると，男女ともに最も人数が多 37.9 %である。(表 6－3)

表 6－3　男女，スマートフォン・パソコンなどの使用の有無，使用時間別の人数及び構成比（平成 28 年）－週全体

（千人）

	総数	使用しなかった	使用した	1時間未満	1-3時間未満	3-6時間未満	6-12時間未満	12時間以上
総数	2,604	1,071	1,533	503	570	287	108	29
男	1,301	513	788	232	289	172	62	18
女	1,303	558	745	271	282	115	46	12

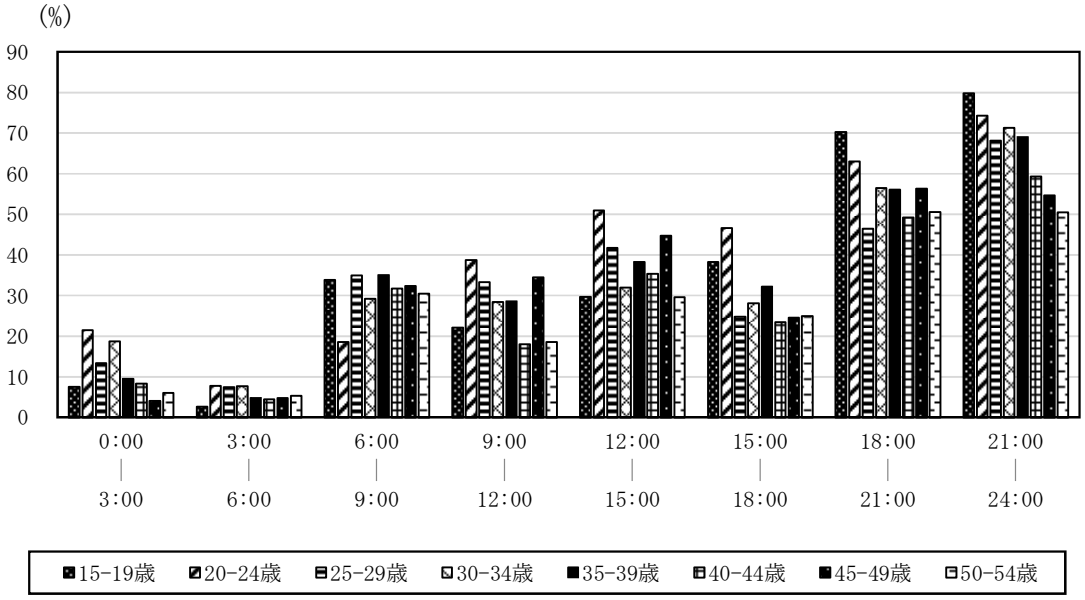
（%）

	総数	使用しなかった	使用した	1時間未満	1-3時間未満	3-6時間未満	6-12時間未満	12時間以上
総数	100.0	41.1	58.9	33.6	38.1	19.2	7.2	1.9
男	100.0	39.4	60.6	30.0	37.4	22.3	8.0	2.3
女	100.0	42.8	57.2	37.3	38.8	15.8	6.3	1.7

（４）スマートフォン・パソコンなどの使用は，21～24 時の時間帯に行動者率が高い

スマートフォン・パソコンなどを使用した人のうち，使用割合が男女共に 7 割を超えている 15～54 歳について，年齢階級別に使用した時間帯別の行動者率[1)]をみると，ほとんどの年齢階級で，21～24 時の時間帯の行動者率が最も高くなっている。特に 15～19 歳の 21～24 時の時間帯の行動者率は，79.8 %と他の年齢階級に比べて最も高くなっている。(図 6－3)

図 6－3　年齢階級，スマートフォン・パソコンなどの使用時間帯別行動者率（平成 28 年）－平日，15～54 歳

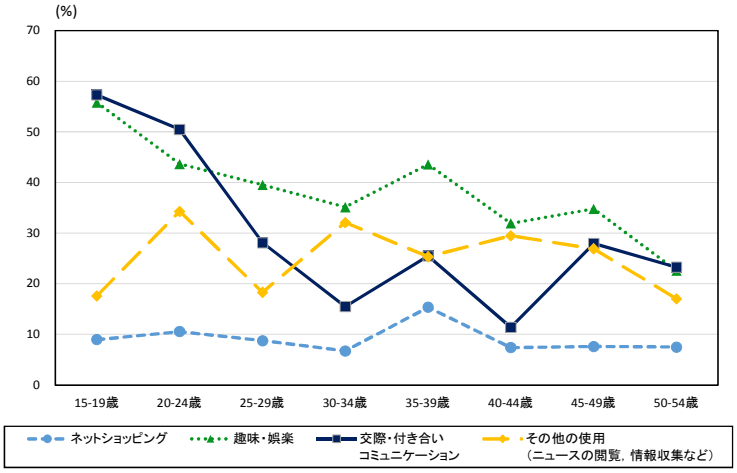


1)　スマートフォン・パソコンなどを使用した人の人口に占める割合

（５）15～24 歳では「交際・付き合い・コミュニケーション」の行動者率が最も高い

スマートフォン・パソコンなどを使用した時間帯別の行動者率が最も高い 21～24 時について，年齢階級，使用目的別[1] にみると，15～24 歳では「交際・付き合い・コミュニケーション」の行動者率が最も高く，25～49 歳では「趣味・娯楽」の行動者率が最も高くなっている。（図 6－4）

図 6－4　年齢階級，スマートフォン・パソコンなどの使用目的別行動者率（平成 28 年）
－平日 21：00～24：00，15～54 歳



1）複数回答あり